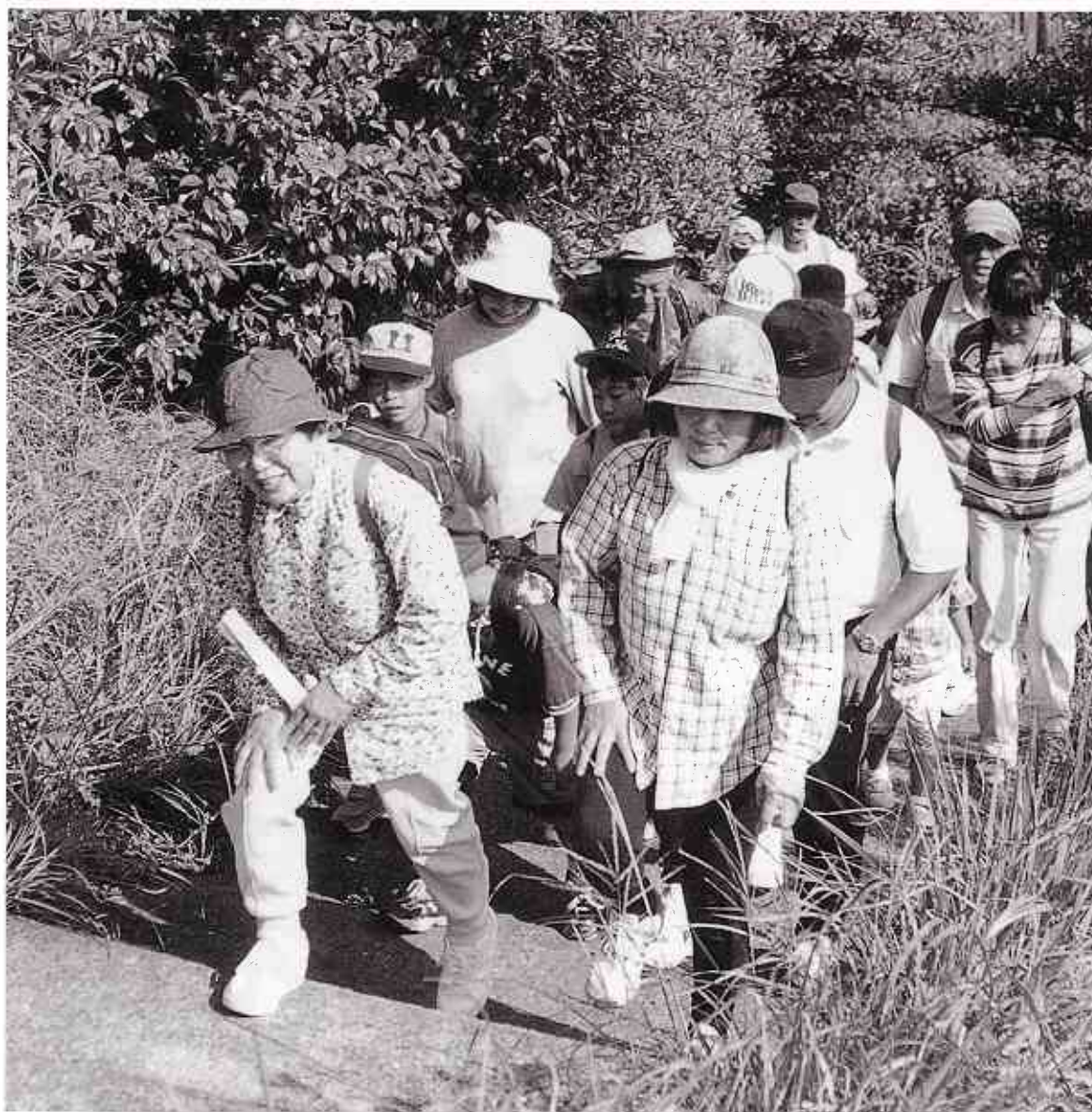


今月の特集 家庭教育を考える



どんな秋を見つけたかな

健康づくり、仲間づくり、自然に親しむ豊かな心づくりをテーマとした第34回日向市歩こう大会が10月11日、大王谷実りの秋コースとお倉・お金夢街道コースの2コースで行われました。お倉・お金夢街道コースでは、秋の気配が感じられる遊歩道をみんなで散策。どんな秋が見つかったかな。

家庭教育を 考える

近年、凶悪化、低年齢化する少年犯罪をはじめ、非行、いじめ、不登校などの問題が、大きな社会問題となっています。その解決のためには、家庭・学校・地域社会が手を携えて取り組んでいくことが求められています。今月号では、人間としてのあり方や生き方を培う場である家庭について考えてみましょう。

第1章

増え続ける少年非行の 原因を探ろう

市内でも増加している 青少年の非行件数

少年非行の検挙件数は、昭和26年・39年そして58年（戦後最

高）に次いで、昨年第4のピークとなっています。全国各地で陰湿ないじめに関連した非行や凶悪な殺人事件、強盗事件が多発したり、覚せい剤やシンナー等の薬物乱用の数が増してき



子供たちの元気な笑顔のために（日知屋幼稚園：本文とは関係ありません）

たりしています。

日向市においても、昨年度は喫煙・深夜はいかい・窃盗などの不良行為少年が増加の傾向にあります。

凶悪・強盗事犯を起こした少年たちの特徴としてあげられるのは、14歳から18歳までの少年で約7割を占め、そのうちの多くが家庭に何らかの問題があったということです。また、集団での犯行が多く、その目的も金銭目的というよりも遊びや憂さ晴らしの要素が多いようです。

市内でも、中学生の集団による自転車ひったくりや万引き、窃盗も数が増しているのが現状で、そのような少年たちは自分の犯した行為の重大さを全くと言っていいほど感じていないようです。

このような少年たちに相手を感じやれる気持ちや人の痛みをわかる気持ちがあれば、面白半分にゲーム感覚の犯行など到底できるものではないでしょう。

「心の力」を高める 教育が大切です

今、こうした非行の芽を摘む活動とともに、「非行に負けない」「非行に走らない」青少年の育成が大きな課題となっています。

ます。

青少年の非行の問題については、「特効薬」はないと言われます。体の病気なら「体の抵抗力」を強め、薬という援軍で治すことができます。それでは、非行への対処法はどうすればよいのでしょうか。それは、根本的には青少年の「心の力」そのものを高めていくしかないのではないのでしょうか。

「心の力」を高めるといこうとは、家庭での教育が大切になってきます。

国においては、平成9年8月に文部大臣から中央教育審議会に対し、「幼児期からの心の教

育のあり方」について諮問がなされ、今年6月30日にその答申を受けました。その答申の中には「もう一度家庭を見直そう」という内容が盛り込まれていて、具体的な事例や指導内容が示されています。

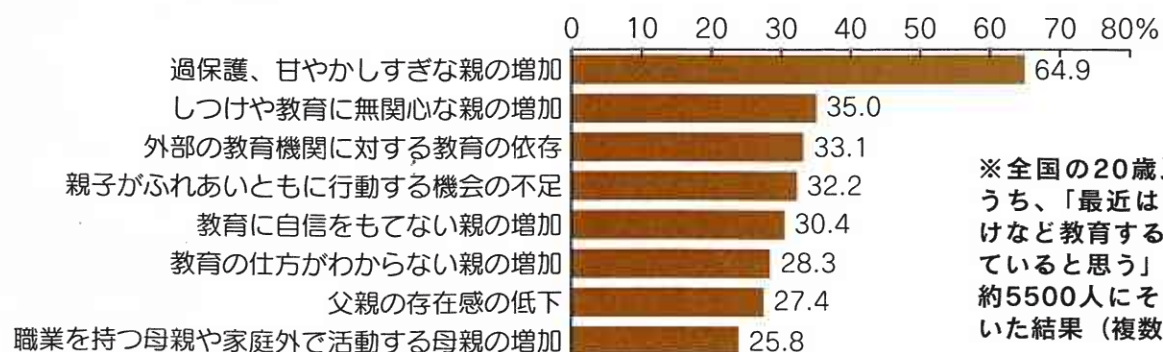
また、青少年を非行に走らせないために、家庭教育とともに重要になってくるものに「非行の未然防止」「環境浄化」「教育相談」があげられます。

このように青少年の健全育成には、家庭、学校、地域が一体となった幼児期からの教育に力を注ぐことが大切となっています。



▲子供たちの笑い声が響きわたる学校生活を目指します

家庭の教育力が低下している理由 [青少年と家庭に関する：平成5年・総理府]



※全国の20歳以上の者のうち、「最近では家庭のしつけなど教育する力が低下していると思う」と答えた者約5500人にその理由を聞いた結果（複数回答可）

子供の豊かな心を育てるために私が思うこと

私は、2年前の9月に生死をさまよう大病に侵され、入院生活を余儀なくされました。緊急入院のとき、頭の中には2人の子供のことだけ。1カ月半の入院生活中に考えたことは、なぜもっと子供たちと接する時間を作らなかつたのだろうか、ということばかりでした。

それまでの私は、私の父と同様、家庭を顧みることのなかった毎日の生活で、もちろん参観日や家庭訪問、その他いろいろな学校行事は妻まかせ。子供たちの持ち帰るプリントなどを目を通したこともありませんでした。育児に関しても、怖い父親の威厳はありましたが、晩酌して寝ていたばかりで、反省、反省また反省です。

退院日から1年間の禁酒生活中、もつと子供たちとかかわり

永江町：上原 誠さん (41歳)
恵子さん (41歳)
大知くん (13歳)
千明ちゃん (11歳)



をもとうと思ひ、時間の許す限り妻と一緒に接してきました。退院後初めての運動会。涙、涙でフライングはのぞけず、映したビデオは散々なものでした。次に、現在、小学校5年生の長女のハンドボール部への入部。毎日のように練習をのぞき

積極的に子供たちと関わることでそれが家庭教育の第一歩

に行くうちにすつかりのめり込んでしまい、九州大会に出場したときは得点のたびに涙、涙。先日は、京都で開かれた全国大会で準優勝。部員全員がわが子のように思え、全員の頭をなでながら、ここでもまた……

このように、子供たちと接してみても、これほど感動を与えてくれるとは思っていませんでした。勉強はさておき、スポーツに熱中する姿は、本当にいいものです。皆さん、うれし涙、流してみませんか。

また、先日は、長男のクラスキャンプがあり、家族4人で参加しました。子供たちが主体で

親がサポートということでしたが、なんと子供たちは全員参加し、親の協力も相当なものでした。この様子ならまだまだ捨てたものではないぞと思いました。積極的に子供たちとかかわることが、家庭教育の第一歩ではないかと痛感しています。

また、子育てという言葉は、子供に育てられるということなのでしょいか。子供と接するようになって考えさせられたような気がします。

これから、子供たちが「もうついてこんで」と言い出すまで、家族でいろいろな行事に参加しようと思います。

毎日のように、新聞、ニュース等で、中学生の事件が聞こえてきます。私にもひとごとには思えず、そんないろいろなこと

を聞くたびに耐えられないほどつらくなります。改めて、人の親になることの重大さを痛感している毎日で。

わが家は、祖父母を中心とした6人家族です。時折思うことは、祖父母のお陰で、2人の子供が素直に育っていること。そ

して、2人の子供の思いやりにふれることができたとき、そのことに深く感謝し、これから先いろいろな難題をぶつけてくる

であろう子供たちのために、親としてしっかり向き合っている人たちは、本当に腹を割って本気で付き合ってくれている」



金ヶ浜：川野サトミさん (38歳)
敏幸さん (39歳)
弘明くん (14歳)、真由ちゃん (13歳)
志歳さん (74歳)、春江さん (67歳)

と思われるように、ベストを尽くしていかなければと覚悟しているところだ。

親を尊敬するとか、親孝行するとか、そんなことよりも大切なのは、親をどれだけ信じてくれるかということ。そのことが私たち親としての一番の課題のような気がします。

つい先日、長男が14歳の誕生日を迎え、ケーキに14本のロウソクを灯していくうちに、何かしら胸が熱くなり、思わず涙ぐ

んでいると、長男が、「お母さんって本当に超泣き虫じゃがね」と一言。親にもプライドとか、子供にかつこつたという気持ちがあるけれど、子供のこととなると、つい一生懸命になって、でもいつかはそういう親の気持ちをきくと受け止めてくれると信じています。

長女とは、時々、交換日記をやっています。彼女が今、何を考え、何を悩んでいるのかを知するために、私の方からさりげな

く始めてみました。

実際には、今日一日何があったとか、兄ちゃんと食べ物のこととでケンカしたとか、そういう他愛もない内容ですが、それでも私にとっては、大切な宝物になりそうです。

私は、子供の親になって初めて一緒に成長していくんだなあと思います。子供たちから学び得ることもたくさんあり、だから毎日が納得したり、反省したり。そこで会話も生まれるし、親と子いい関係で助け合って、夫と力を合わせ、いろいろな力の力を借りながら、これからの最後まであきらめずに頑張っていきたいと思うこのごろです。

親をどれだけ信じてくれるかが私たち親としての課題では

集いに500人が参加

平成10年度家庭教育を考える集いが9月25日、市中央公民館で開かれ、約500人が参加しました。集いでは、「子供と語ろう子どもの目線で～問い直そう家庭のあり方～」を研究主題に、事例発表と講演が行われました。

事例発表は、財光寺小学校PTAの岩見つじ子さん(松原)と富島中学校PTAの尾前裕治さん(中堀町)が登壇しました。

岩見さんは、「親子のふれあい」をテーマに、重病の子供が病を克服しながら成長して行く過程での親と子のふれあいを紹介。「一口に親というが、子育ては本当に大変です。子供が病気になるって、1日1日を楽しく過ごすことを学びました。子供が元気に育つにつれ、子育ての中での問題も出てくるでしょうが、一つ一つ解決して一人前に育てていきたい」と語りました。

尾前さんは、「子供を育てるということ」というテーマで、「子供が成長するにつれて、親の思いも変化しているのでは」と自分自身の失敗談も含めて紹介。「親の考えを押し付けるのではなく、子供のよいところを伸ばしてやろうと考えています」と語りました。

その後の質疑応答では、会場からさまざまな質問が2人に寄せられました。

講演は、日本国際童謡館館長の大庭照子さんが「童謡を未来の風にのせて」という演題で話されました。大庭さんは、「教育は、子供が主役だが、根っこの部分は親が責任をもたなければならない」と訴えました。



事例発表を行う岩見さんと尾前さん

権現崎公園を市民の憩いの場として整備

平成10年第4回日向市議会（定例会）が、9月7日から25日までの19日の日程で開かれました。

議会には、人事案件2件、条例7件、事件決議2件、補正予算10件及び平成9年度決算認定14件の計35件を提出しました。審議の結果、12月議会まで継続審議となる決算認定を除き、すべて原案どおり同意、承認、可決されました。

今月号では、その主なものについてお知らせします。

人事 教育委員会委員の任命について

教育委員会委員の渡邊美子さんの任期が、9月30日をもって満了となりましたが、引き続き委員としてご尽力いただくようになりました。教育委員会委員は、5人で構成され、小中学校及びその他の教育機関の管理、学校の組織編制・教育課程・教材・教職員配置等について審議します。

人事 公平委員会委員の選任について

長年にわたり本市の公平委員会委員としてご尽力いただきました河野昭一さんの任期が、9月30日をもって満了となりましたので、

条例 日向市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例

この条例は、本市都市計画下水道事業の第6次処理区における受益者の単位負担金額を富高、亀崎地区で455円、曾根、堀一方地区で460円と定めたものです。同処理区は、今年度から平成15年度にかけて面整備を行うことにしています。

決議 財産の取得について

これは、近年、複雑多様化し年々増加する救急出動に対応するため、高規格救急自動車を購入するものです。この救急自動車は、高度救命処置用資機材や救急指定病院との通信システム等を搭載し

ており、救急業務時における救命率の向上を図ることができます。

予算 一般会計補正予算

今回の補正は、現計予算の調整と、国・県補助金の決定及び国の補正予算にかかるものが主なものです。補正額は15億679万9300円で、補正後の金額は218億5531万円となりました。

◇グリーン博みやざきサテライト会場設置 来年3月から開催されるグリーン博みやざき99のサテライト会場として、日向岬グリーンパークに花壇を設置します

◇権現崎公園整備事業 市民の憩いの場である権現崎公園に駐車場や案内板等を設置し、さらに魅力あふれる公園とします

◇細島東部住環境整備事業 国の補助金決定によるもので、今年度は地区内の道路整備のほか、コミュニティ住宅1棟を建設します

◇心の教室整備事業 日向中学校にカウンセリングルームを整備します

市有地を売却します

市は、北町地区及び亀崎地区内にある市有地等を次のとおり売却します。希望する方は、受付期間内に申し込んでください。

ただし、一人（法人を含む）につき、1物件とし、また、1物件に対し、申し込み者が2人以上ある場合は、後日抽選により決定します。

◇受付期間 11月4日（土）～11月10日（土）日曜日及び祝日は除く

◇受付場所 市契約管理課

◇申込方法 所定の申込書（市契約管理課にあり）に、市税完納証明書を添えて提出のこと

◇問い合わせ 市契約管理課（市内線2264）



気をつけて はじめはすべて小さな火

秋の全国火災予防運動 11/9～11/15

11月9日から15日までは、秋の全国火災予防運動です。期間中、「気をつけて、はじめはすべて、小さな火」を全国統一防火標語にさまざまな運動が実施されます。

特に、今年度の重点目標を①住宅防火対策の推進、②地域における防火安全対策の充実、③特定防火対象物等における防火安全対策の徹底、としています。

今年1月から9月までに市内で発生した火災の件数は、建物13件、林野5件、車両4件、その他5件の計27件です。出火原因の上位を見てみると、放火の疑いが7件、たばこ及びたき火の不始末によるものがそれぞれ4件となっています。

寒い冬を前に各家庭では、火気を使うことが多くなる

防火対策ワンポイント

- 就寝中の火災や早期発見に役立てるために、住宅用火災警報機の設置の検討を。
 - 初期消火のために消火器を備えておく。住宅用スプリンクラー設備を設置すればさらに有効。
 - 初期消火の限界を知り、避難の機会を失わないようにする。
 - 日ごろから、火事になった場合を想定して、避難路の確保や避難の方法を決めておく、訓練してみる。
 - また、一度避難したら戻らない。
 - お年寄りの寝室は、避難しやすい場所に。
 - 寝室のそばに消火器や火災警報器などを設置しておくことさらに安全。
 - 衣類や寝具類、カーテン・カーペットなどは、燃えにくい防災製品にしておくこと安心。
- ※防火対策は、家族全員の協力が大切です。月に一度は、家族防災会議を開きましょう。

売却物件一覧表

《市有地》

	所在地	面積	価 格
①	北町2丁目4番	147.41㎡	7,429,400円
②	北町2丁目8番	178.56㎡	8,999,400円
③	亀崎2丁目143番	273.05㎡	11,626,400円
④	亀崎3丁目17番1	382.39㎡	16,490,900円
⑤	亀崎3丁目17番2	273.03㎡	12,127,700円
⑥	亀崎3丁目39番	300.44㎡	12,956,700円
⑦	亀崎3丁目59番	195.96㎡	9,702,500円
⑧	亀崎4丁目9番	444.42㎡	18,559,400円

《土地開発公社所有地》

⑨	亀崎東3丁目112番	94.00㎡	17,922,000円
	亀崎東3丁目113番	254.00㎡	

※地目については、すべて雑種地です。

市政の動き

お楽しみがいっぱい待ってるよ

第17回 産業まつり 第16回 商業まつり

日向市産業・商業まつりが11月7日・8日、市役所前広場で盛大に開かれます。お楽しみ抽選会や米の無料配布スタンプラリー、動物ふれあいコーナーなど、楽しい催し物がいっぱい準備してあります。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

◇会期＝11月7日(土)／10時～17時(9時30分から開会行事)、8日(日)

／10時～16時

◇会場＝市役所前広場

◇内容＝①地場産品・商業製品展示即売、②豪華商品が当たるお楽しみ抽選会、③米の無料配布スタンプラリー、④十五夜奉納太鼓、⑤日向鉄工協同組合による溶接無料修繕コーナー、⑥日向木の芽会による親子木工教室、⑦動物ふれあいコーナー、⑧ストラックアウトなど



認定証の交付を受ける各団体の代表

福祉活動を支援します

うるおい福祉基金

市は9月24日、今年度の「うるおい福祉基金」の認定4団体に、認定証と助成金の交付を行いました。

うるおい福祉基金は、市民の創意と工夫を生かした自発的な保健福祉事業を推進するために、地域福祉の向上または高齢者の健康づくり、生きがいづくりを図る福祉ボランティア活動や民間の福祉事業に対し助成を行うもので、平成4年度から取り組まれています。今年度の認定4団体及びその助成内容、助成額は、次のとおりです。

- ◆「ハンセン病&エイズ…差別の今を考える」実行委員会(代表…前川吉晴) 社会に生きるすべての人々が差別や排除を受けることなく、平等に生きられる社会を共につくり上げていくことなどを目的として、県外から講師を迎えて、ハンセン病及びエイズ予防法等について検証を行う(30万円)
- ◆ボランティアグループふうせん(代表…田尾哲男) 地域の一人暮らし高齢者を対象にしたボランティア活動を行ううえで、資金づくりのため回収している古紙やアルミ缶を管理する倉庫の建設(30万円)
- ◆日向市高齢者クラブ黒潮長寿会(代表…宇都宮一栄) 毎年、寝たきりや一人暮らし高齢者等への友愛奉仕活動を行っているが、今年度は80歳以上の一人暮らし高齢者に会員手作りの肩掛けを贈る(30万円)
- ◆日向市高齢者クラブ黒潮長寿会(代表…是沢良子) 地域内の一人暮らし高齢者を招待しての食事などでもてなす会を定期的に開催するための設備・備品の購入(25万円)



彫刻のある風景を描こう

スケッチ大会開催

彫刻の並ぶ日向岬グリーンパークを描く98日向現代彫刻展スケッチ大会を、11月28日(土)・29日(日)の2日間開きます。どなたでも参加でき、また、賞品も多数準備しています。ふるってご参加ください。

※スケッチ用具と弁当は持参してください(画用紙は、準備します)。

みんなでつくる彫刻のまち

'98日向現代彫刻展

会期/平成10年11月8日(日)

～12月5日(土)

会場/日向岬グリーンパーク

市制施行40周年を記念してスタートした日向現代彫刻展が、11月8日から日向岬グリーンパークでいよいよ始まります。今年も全国各地からトップクラスの作家32人が出品し、現代彫刻展大賞と市民大賞を競います。

審査員は、現代彫刻展大賞が東京都写真美術館館長の三木多聞さん、市民大賞は市民の皆さんです。現代彫刻展大賞、市民大賞となった作品は、それぞれ市が購入し、市内に設置する予定です。

市民大賞を選ぶ市民投票の期間は、11月8日から29日までです。皆さんの好きな作品を投票してください。

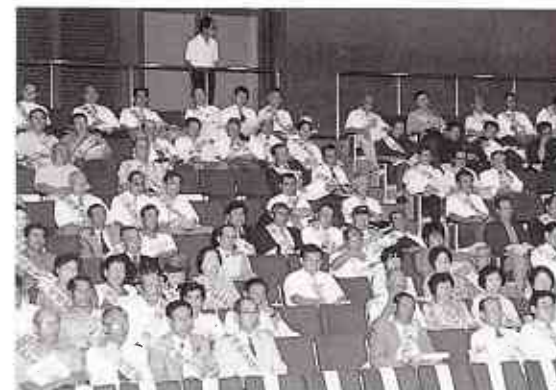
出品作家は、次のとおりです。(敬称略)

◎アキタホホ◎五十嵐晴夫◎井田勝己◎于良文◎荻野弘一◎奥村羊一◎尾崎慎◎鬼塚良昭◎近藤隆◎櫻井壽人◎信ケ原良和◎篠原秀法◎新谷一郎◎杉野みちの◎鈴木典生◎田中等◎田中毅◎中井保博◎中村滝雄◎長谷川政弘◎八田隆◎福元修一◎藤田政利◎藤本均定成◎古川厚雄◎星野健司◎松岡睦美◎水田勢二◎宮地豊◎村上九十九◎山田忠範◎吉田正純 ※五十音順

地域の安全は 私たちの手で

全国地域安全運動日向地区推進大会が10月14日、中央公民館で開かれました。平穏な日常生活を脅かす犯罪や事故、災害による被害を未然に防ぐためにも、地域住民の連帯意識や自主的な地域安全活動が大変重要となっています。

大会では、アトラクションに続き、東郷町昌福寺・鈴木孝禅住職が「安らぎへの帰着」という演題で講演し、地域安全運動の重要性をユーモアを交えながら話されました。また、「みんなでつくる安心の街」を合い言葉に「日本一安全で住みよい郷土」の実現を目指した大会宣言が採択されました。



大勢の人が参加した推進大会

力作が勢揃い

第12回日向市児童美術展覧会が、9月26日から10月4日までアステイ日向寿屋で開かれました。展覧会には、市内の小中学校から絵画の部に412点、毛筆書写の部に414点の計826点の力作が出品されました。

審査の結果、日向市長賞には、絵画の部で松田倫徳さん(塩見小3年)、毛筆書写の部で久義尚也さん(岩脇中3年)がそれぞれ選ばれました。



松田倫徳さんの作品



久義尚也さんの作品

■広報紙に掲載された写真を差し上げます。
希望する方は市総務課(市内線2234)まで



環

境ホルモンって何だ

日向市ふるさと環境教室の公開講演会が10月3日、日知屋公民館で開かれ、約70人が参加しました。講師は、宮崎市の水を考える会事務局長で環境庁の環境カウンセラーにも登録されている坂本正典さんで、「環境ホルモンその後、子どもたちの未来は大丈夫?」と題して講演されました。

まず、坂本さんは、全国各地で採取されたイボニシ(巻貝の一種)を例に取り上げながら「ダイオキシンをはじめとする環境ホルモンの問題は、野生生物が子孫を残せないかもしれないという大問題だ」と説明。採取されたイボニシには、雌雄同体のものが多く見られ、その原因には有機スズなどの環境ホルモンが深く関わっているという。

これは、イボニシだけに限ったことではなく、私たち人間を含む野生生物すべてに共通することです。それは、食物連鎖により私たちも、それらの環境ホルモンを摂取することにつながるからです。

このようなことから坂本さんは、「野生生物と一緒に豊かな子孫が残せるように考えていかなければならない」と訴えました。

今年度の日向市ふるさと環境教室は、「命・愛・環境」をテーマに8回の講座を行っています。

TOWN-TOPICS

まちの話題

かわいい稚児行列に拍手



「日向めいぶつ」の歌のとおり、市を代表する祭りの一つである日向十五夜祭りが、9月26日、27日の2日間、中心商店街で開かれました。800年の伝統を持つこの祭り。今年も上町、本町、中町、南町の趣向をこらした花屋台をはじめ、見立て細工や舞踊隊などでにぎわいました。

祭りを盛り上げた「代官行列」では、日田の代官・塩谷大四郎に扮した赤木市長を中心に13人がまちを練り歩きました。中でも今年は、行列の先頭を



歩く上町保育所と日知屋保育所の園児ら20人のかわいい稚児行列が人気を集め、盛んな拍手が送られていました。

また、代官行列と合わせて祭り花を添えたのが、「ミス十五夜」。今年は、宮崎銀行日向支店の小竹美保さん、宮崎太陽銀行日向支店の日吉江利子さん、JA日向支店の堀谷百合子さんの3人が選ばれ、祭りを盛り上げました。

ふ

れあいをもったスポーツ大会



障害者と健常者のふれあいスポーツ大会は10月10日、大王谷運動公園で開かれました。この大会は、スポーツを通じて一般社会の心身障害児者に対する理解の高揚をはかることを目的に毎年開催されているものです。

この日は、障害児者及び福祉施設職員、ボランティアなど約500人が参加し、徒走競争や1500m走などの陸上競技から、大玉ころがしや車イス走といった団技に心地よい汗を流しました。



御

銚ヶ浦で清掃奉仕活動

シルバー人材センターの会員約250人が10月9日、御銚ヶ浦の公園及び海水浴場で植木の剪定や清掃活動に汗を流しました。これは、10月がシルバー人材センターの「普及啓発促進月間」となっていることから毎年行っているものです。

シルバー人材センターは、高齢者が生きがい高めるとともに、高い就業意欲を生かし、その能力を有効に発揮させる機関で、市内では現在420人が会員として登録しています。

認

定農業者を支援します



日向市農業経営改善支援センター専任職員に、黒木清満さん(67歳・庄手)が就任しました。農業経営改善支援センターは、認定農業者制度の普及や認定農業者の経営改善の支援活動を行う機関で、県・市・JA・農業委員会が構成されています。

黒木さんは、この支援センターと認定農業者とのパイプ役として、情報の提供や経営状況の把握、相談受付、認定農業者の掘り起こしなどの活動を行います。

県

代表でハワイに行きます



11月14日からハワイで開かれる世界ゲートボール選手権大会の審判として、川路団地区の山崎イツ子さんと大王谷区の江藤スオさんが出場することになりました。お二人は、(財)日本ゲートボール協会の1級審判員を取得するなど、これまでの活動が認められて、県代表として選ばれたものです。

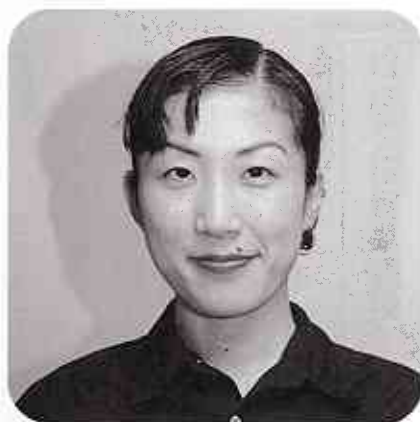
大会は、世界各地から20カ国が参加する大きなもの。県代表として、また、市代表として頑張ってください。



遊歩道沿いにある金刀比羅宮のほくら

このほからは、今から約150年前の1854年に四国の本宮から受札されたとの由来を記した掲示板が立っています。いつもきれいに手入れがされていて、一休みするのによいところです。

このコーナーは、ふるさとの自然を守る会の小倉久信さん(原町)に寄稿いただいています。



平山 智穂さん
(25歳・広島)

日向青果(株)に勤務し、オープンしたての市場で慌ただしい毎日を送っています。この仕事に就いて野菜の値段が前よりいっそう気になるようになりました。早く仕事を覚えて市場を利用される方々と仲良くなりたいですね。自分で運転するのが好きでよくドライブに出かけます。ゆつくりと温泉にでもいきたいな。

いきいき 青春トーク

椎葉 俊幸さん
(25歳・新生町)



(株)日向衛生公社に勤務し、パソコンでの顧客管理が主な仕事です。外勤の方々がスムーズに仕事ができるようなデータの提供を心掛けています。趣味は、映画鑑賞と週に2回のバスケットボール。仕事を頑張ることはもちろんですが、今の夢は…マイホームを建てることかな。

外にとび出そう！19

日向しぜん探訪

御名崎ヶ鼻遊歩道から 金ヶ浜遊歩道までの探訪記 ⑩

金ヶ浜は、直線で1キロメートルほどの砂浜が続く、どこを通ってもよいのですが、大波の日以外は波打ち際の砂が湿っているところが足元が堅くて歩きやすいと思います。浜歩きの途中、2、3カ所の小さな流れのあるところがありますが、いずれも靴を濡らすほどのことはありません。これらの流れに目をやると、

黒々とした砂鉄が筋状に沈殿していることに気づきます。先ほど、古代製鉄遺跡のことを紹介しましたが、昔この砂鉄を原料にしたものだろうと思われまふ。

それと、弘法大師とおかねにまつわる伝説については、昔とは少し違って、今ではハマグリも生息しているようです。あるところに、ハマグリ採取を規制する標識が立てられています。また、あるところには、「ウミガメの産卵と稚ガメの成育にご協力を」と書かれた標識もあります。

一人ひとりが心して環境の保護に努めたいものです。

砂浜歩きが終わると、ちよつとした岩場の中を歩くことになりました。この岩場のすぐ手前の左手には、灌木に囲まれた小高いところに、小さな金刀比羅宮のほくらがあります。

私の一番好きな季節、秋になりました。日本では、秋は何よりも遊んだり、スポーツをしたり、ピクニックをしたりするといわれていますね。秋が深まるとともに、オーストラリアの子供たちはもう一つのイベントを楽しみにしています。それは、ハロウィーンという祭りです。毎年10月31日に行われます。ハロウィーンの歴史は2000年前、アイルランドとイギリスとフランスの古代のケルト人の文化から発祥しました。ケルト人には、10月31日を境にして日没が早い季節を迎えるために鬼がさまよって

いると信じられていたもので、悪霊をおどし追い払うための大きなかがり火がつけられました。後で、キリスト教が広まり、この儀式もキリスト教に取り込まれました。キリスト教徒にとっては、11月1日は信者の祝日です。「ハロ」と言うのは、昔の英語でキリスト教徒の「聖者」という意



味を表しているもので10月31日の夜の「オルハロズ前夜祭」がハロウィーンと呼ばれるようになりました。11月1日の大切なお祝いの準備のために、10月31日の夜、町中で子供たちが、各家庭からお菓子をもらうようになりました。

現在、宗教上の意味は薄くなつて、どんな宗教の子

10月31日、子供たちは仮装して近所の家々を回り、お菓子をもらいます



供たちでも仮装して近所の家々を回り、お菓子をもらいます。これは「トリック・オア・トリートイング」と言う習慣です。ハロウィーンの習慣はもう一つあります。それは、「ジャック・オブ・ザ・ランテン」と呼ばれています。ジャック・オブ・ザ・ランテンというのは、カボチャを彫刻した

ちようちんで、悪霊をこわがらせるために、カボチャに恐ろしい顔を彫りうそくを入れて、玄関や窓に置きます。私も子供のとき、友達と一緒に毎年近所でトリック・オア・トリートイングやジャック・オブ・ザ・ランテンを作った楽しい思い出がいっぱいあります。

このコーナーでは、国際交流員のカーズティさん(オーストラリアの文化などを紹介していきます)。

「ドリーム・タイム」というのは、オーストラリアの先住民アボリジニの考え方や文化を指す言葉です。

みんなの広場



こんにちは 図書館です

図書館での秋の読書週間行事を紹介します。どうぞ、お越してください。

秋のとしょかんまつり

◆とき=11月14日(土)

◆ところ=市立図書館

☆おはなし会(10:30~11:30)

幼児向きと小学生向きとに分かれて、絵本の読み聞かせや手あそびなどをします。

☆朗読会(13:30~14:30)

一般の方々を対象に、短編や詩歌などを朗読します。

☆古本市(9:00~15:30)

家の中で眠っている本を各自持ち寄りあって、図書館のガレージで市を開きます。そして、来館者の皆さんに自由にもって帰ってもらいます。

☆おりがみ教室(11:30~12:00)

おはなし会の終了後、折り紙の本を参考に折り紙を作り、お土産にもって帰ってもらいます。

☆しゃぼんだまであそぼう

(14:30~15:30)

大きなシャボン玉やめずらしいシャボン玉づくりを実演します。

佐藤宗夫講演会

◆とき=11月9日(月)18:30~

◆ところ=ベルフォート日向(無料)
子供と読書の喜びについての講演

読書感想絵はがき展

◆とき=11月3日(火)~20日(金)

◆ところ=市立図書館

「会えてよかった1冊の本・絵はがき展」に応募のあった作品の展示

■現在、市教育委員会では、細島港に関する資料を収集しています。皆さんのお手元に細島港に関する写真・文書などがありましたら、ご連絡ください。文化係(☎内線2426)

見上げてごらん 秋の夜空を

市中央公民館では、恒例の「秋の星を見る会」を次のとおり開きます。
今年最大の天文現象のし座流星群が出現します。秋の夜長を星を見上げて過ごしてみませんか。
ただし、雨天の場合は、中止とします。
◇日時 11月17日(火)午後7時
◇場所 お倉ヶ浜海水浴場

駐車場
◇持ってくるもの 筆記用具、懐中電灯、防寒具(持っている人は、星図や天体望遠鏡なども)
◇問い合わせ 市中央公民館(☎53-6867)
世代間交流グラウンド・ゴルフ祭

親子で参加しませんか

スポーツライフ推進事業の一環として、第10回世代間交流グラウンド・ゴルフ祭を開きます。親子や友達同士でどしどし参加してください。

◇日時 11月15日(日)午前9時〜12時(午前8時30分までに受付してください。雨天の場合は中止)
◇会場 お倉ヶ浜総合公園多目的広場
◇チーム編成 1チーム/4〜6人
◇競技方法 16ホールを2チームで回ります(マークとなるコイン等を持参のこと)
◇参加料 無料
◇表彰 個人・団体それぞれの上位を表彰するほか、参加者全員に参加賞や飛び賞があります

◇申込方法 11月12日(木)までに市教育委員会社会体育課(☎内線2455)までご連絡ください
幼稚園児の募集

11月2日募集開始

学校法人立幼稚園は、学校教育法及び幼稚園設置基準の厳しい水準を満たし、文部省・県知事から認可を受けて設立されている幼稚園です。

この学校法人立幼稚園では、11月2日から平成11年度の幼稚園児を募集します。

平成11年4月1日現在、満3歳の児童から入園することができ、兄弟姉妹の少なくなった現在では、3歳からの3年保育が理想とされています。

日向市学校法人立幼稚園

▽日向カトリック幼稚園(☎52-2948)▽南日向天使幼稚園(☎57-1168)▽財光寺幼稚園(☎54-3317)▽財光寺南幼稚園(☎54-6500)▽富高幼稚園(☎52-3737)

11月の相談

◇交通事故巡回相談
とき 11月12日(木) 10:30〜14:30
ところ 中央公民館
◇法律相談
とき 11月19日(木) 10:00〜15:00
ところ 中央公民館
◇年金巡回相談
とき 11月10日(火) 10:00〜15:00
ところ 青少年ホーム
◇子育て相談
とき 11月14日・28日 10:00〜16:30
ところ アステイ日向
◇「過労死」相談
財労年金福祉協会の各労働年金相談所及び相談室では、「過労死」についての相談を受け付けています。
とき 毎月第2月曜日 10:00〜16:00
ところ 財労年金福祉協会宮崎相談所(☎フリーダイヤル0120-603114)

'99第5回 日向ひよっこマラソン INほそしま

日向灘のさわやかな潮風を受けながら、新春の日向路を市外の皆さんと、また家族や友達と一緒に走ってみませんか。
今年からハーフマラソンの部が新たに設けられました。そのコース途中では、雄大な太平洋を臨むことができ、大変魅力のあるコース設定となっています。

かわいいひよっとも皆さんのお越しを待っていますので、どしどしご応募ください。

◇開催期日 平成11年2月21日(日)【雨天決行】

◇集合場所 細島工業港「港の森公園」

◇種目 ①2km/小学4・5・6年生
②5km/中学生・高校生・一般
③ハーフマラソン/一般

◇参加資格 小学4年生以上の健康な方

◇参加料 小・中学生/1000円、高校生/1500円、一般/3000円(昼食代を含みます)

◇申込締切 平成11年1月14日(木)当日消印有効

◇申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、参加料を添えて申し込んでください

◇申込先 市教育委員会社会体育課内・日向ひよっこマラソン実行委員会(☎内線2453)

◇表彰 各種目の6位まで表彰(そのほか、参加賞、ラッキー賞、特別賞を準備しています)

■国際交流員のカーズティーさんと交流を深める「クイズナイト」を11月27日(金)に市中央公民館、12月5日(土)に美々津公民館で開きます。詳しくは、市総務課(☎内線2224)へ。

守っていますか 最低賃金

県内事業所で働くすべての労働者(産業別最低賃金が適用されるものを除く)に適用される宮崎県最低賃金が、次のとおり改正されました。この最低賃金は、臨時、パート、アルバイトなどを含めたすべての労働者に適用されます。
また、最低賃金の対象となる賃金には、①賞与などの臨時の賃金、②時間外労働などの割増賃金、③精皆勤手当、通勤手当及び家族手当は含まれません。

《宮崎県最低賃金》

風しんの予防接種

市は、中学生でこれまでに風しんにかかったことがない人、または、かかったことが不明確な人のうち希望者に対し、風しんの予防接種を実施しています。風しんは、成人になってかかるほどその症状が重く、特に妊娠初期の女性がかかるると、生まれてくる子供に何らかの影響が残ることが予想される病気です。この機会にぜひ、接種してください。

◇受診料 無料

◇実施場所 市内の各医療

難病患者の皆さんの 生活を支援します

平成10年度から難病患者等を対象とした在宅支援事業が始まっています。この事業は、療養の長期化や患者・家族の高齢化といった状況に対応し、地域における難病患者等の居宅での療養生活を支援することにより、患者の自立と社会参加を促進するものです。

サービス内容としては、ホームヘルプサービス事業や施設短期入所事業、日常生活用具給付事業などがあります。

各サービスの申し込み及び問い合わせは、市健康管理センター(☎内線2183)へ。

細島灯台の一般公開

11月1日は、灯台記念日
11月1日は、灯台記念日

11月の納期

水利地益税	第2期
国民健康保険税	第6期
国民年金保険料	11月分

この社会あなたの税が生きている

9月中の交通事故

日向市分	()内前月比			
人身事故	死亡	負傷者	物損事故	
14件	0人	20人	132件	
(-5)	(-1)	(±0)	(-13)	

〜死亡事故多発! 守ろう交通安全〜

ねんきん Q&A

Q. 私は、40歳の自営業者ですが、国民年金保険料の納付・免除をしたことがなく、以前、厚生年金に1年間だけ加入。今から年金保険料を納付した場合、将来年金を受けられますか。

A. 60歳までの20年間と過去2年間分を納付した場合、厚生年金期間分を含めて23年ですので、受給資格期間25年にあと2年足りませんが、60歳以降に2年間任意加入すれば、年金を受給できます。カラ期間の有無によっては不足月数が変わりますので、年金係までご相談ください。

年末調整

12月は、給料などにかかる源泉所得税の年末調整の月です。毎月の給料などから源泉徴収された所得税の1年間の合計額から過不足分を精算する手続きを「年末調整」と呼んでいます。年末調整が正しく行われるためには、扶養親族や保険料などの申告を正しく行うことが大切です。また、今年は、対象者に給与特別減税があります。

《年末調整説明会》

◇日時 11月24日(火)午後1時〜25日(水)午前10時〜午後1時
◇会場 中央公民館

日」です。これを記念して第十管区海上保安本部細島航路標識事務所では、日向岬先端にある細島灯台などの施設を、11月1日(日)午前10時から午後3時まで一般公開します。ふだんは見ることができない灯台の内部やレンズ、回廊、無線方位信号所の機器などが見学できます。

この機会にぜひ、海上交通の安全に重要な役割を果たしている航路標識(灯台等)について理解を深めてください。

また当日は、灯台一般公開記念スタンプや記念写真撮影同時プリントの無料サービスも準備しています。中途障害者雇用継続助成金制度

事業主の方の経済的負担を軽減

中途障害者雇用継続助成金制度は、常用労働者が在職中に業務災害、交通事故などにより身体障害者となった後も継続して雇用する事業主に対し、経済的負担を軽減するために助成金を支

給する制度です。また、この制度は、今年4月1日の制度改正によって、これまでの支給額(3万円)以上の費用負担を伴わなければならないかった要件が削除されるなど、大変利用しやすくなりました。

《助成金の種類》
■中途障害者作業施設設置等助成金
■重度中途障害者職場適応助成金

詳しくは、(社)宮崎県障害者雇用促進協会(0985-2919052)へ。
「同和」問題市民講演会

見つめ直そうみんなの人権

国連は、世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と定めています。今年はその採択から満50年という記念すべき年です。わが国では、12月4日から10日までを人権週間とし、広く国民に呼びかけるとともに、人権意識の高揚を図っています。市でも、「同和」問題を

はじめとするあらゆる人権について考えていただくため、次のとおり「同和」問題市民講演会を開催します。多数の参加をお待ちしています。

- ◇日時 12月4日(金)午後1時30分
- ◇会場 市中央公民館
- ◇講師 市中央公民館
- ◇演題 「今、部落問題を考える」(世界人権宣言50周年の部落問題)

あなたの夢がふくらみます

勤労者財産形成促進制度(財形制度)は、勤労者の貯蓄や持ち家取得といった計画的な財産づくりを、国や事業主が援助、協力しようとする制度です。この財形制度は、勤労者が計画的にお金を貯める「財形貯蓄制度」、財形貯蓄を行って勤労者に住宅取得資金や教育資金を融資する「財形持家融資制度」、財形教育融資制度」などからなっ

市は「身元調査お断り運動」を推進しています。



わが家のアイドル



小崎 藤雄・みさ代さん家の
おてんばちゃん(浜町)
さき 希ちゃん(6歳5ヶ月)
2人のお兄ちゃんにとってもかわいがられている紗希ちゃん。
将来は、ピアノの先生になりたいんだって。

九州中央の旅・特産品プレゼント

熊本、大分、宮崎3県の77市町村で構成する「九州中央地域連携推進協議会」では、九州中央77の魅力をもっとの方に知っていただくために、スタンプラリーを実施します。

今年10月から来年1月までの期間中に、77市町村内のスタンプ3つ以上を集めてハガキで応募すると、ペア宿泊券や特産品が抽選で当たります。

あなたも家族や恋人、友達同士で参加してみませんか。

詳しくは、リーフレット(市企画課または細島・岩脇・美々津支所に設置しています)をご覧ください。市企画課(0985-2215)へ。

未就職者も対象です

医師・歯科医師・薬剤師調査が、次の要領で行われます。この調査は、医師、歯科医師、薬剤師の方々の性別、年齢、従業場所等に

よる分布を明らかにし、厚生行政の基礎資料を得ることを目的としています。

医師、歯科医師及び薬剤師の皆さんのご協力をお願いします。

- ◇調査日 12月31日現在
- ◇対象 国内に居住し、日本の医籍または歯科医籍に登録されている医師及び歯科医師(未就職者を含む)並びに薬剤師名簿に記載されている薬剤師(未就職者を含む)
- ◇調査方法 医師及び歯科医師、薬剤師の方々からの届け出によります
- ◇提出期限 平成11年1月15日までに住所を管轄する保健所へ

※調査票は、病院等に勤務

数字で見る日向市 ⑦

平成9年6月1日に実施されました商業統計調査の結果が公表されましたので、お知らせします。ご協力いただきました商店の皆さん、ありがとうございました。

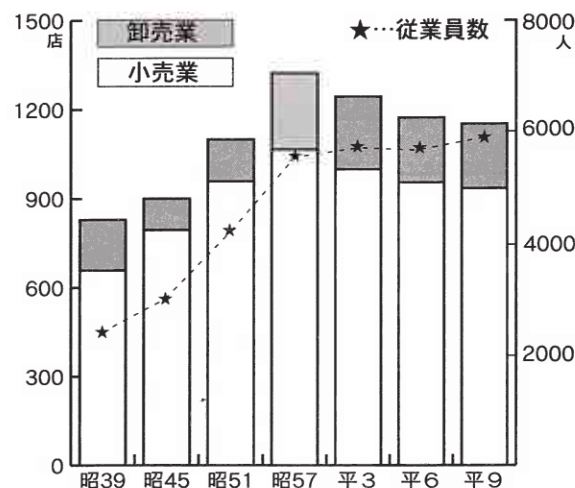
この調査は、卸売・小売を営むすべての商店を対象に、従業員数や年間商品販売額等について実施したものです。前回(平成6年)と比べてみると、全体で21店舗減少していますが、従業員数で233人、販売額で126億144万円増加しています。

平成9年商業統計調査の結果

(単位:人,万円)

区分	総数	卸売業	小売業
商店数	1,152	217	935
従業員数	5,897	1,391	4,506
年間商品販売額	13,764,915	6,337,000	7,427,915

日向市の商業の推移



ご利用ください国の教育ローン

- 入学金や授業料、アパートの敷金、家賃、外国の高校・大学への留学費用など入学時や在学中に必要な資金を融資する公的の制度として、国民金融公庫の国の教育ローンがあります。
- お気軽にご相談ください。
- ◇対象校 高校・短大・大学・大学院・専修学校・各種学校等(外国の高校・大学を含む)
- ◇融資限度額 学生・生徒一人につき200万円以内
- ◇融資期間 8年以内(在学期間内は据置き可)
- ◇返済方法 元利均等毎月払(ボーナス併用払も可)
- ◇利率 年2.5%
- ◇問い合わせ 国民金融公庫延岡支店(0982-3316311)

愛のこ寄付(敬称略)

社会福祉協議会 9月30日現在

故 人	喪主	地 区
戸高 弥寿代	捨 男	石 並
大森 敬子	英 雄	別 府
平田 秀樹	美 穂	平 野
木田 清子	真 実	金 崎
溝口 勉	秀 子	金 崎
寺原 千代美	寺町 典義	美 津
幸崎 久義	キヨ子	塩 津
戸高 国代	一三三	石 並
松葉 純	トヨミ	八 坂
児玉 千治	ミヤ子	金 崎
鈴木 スエノ	大 藏	奥 野
田島 節子	満 一	切 島
山本 イソエ	健 男	新 財
上村 タケ子	寿 男	伊 勢
川野 サン	享 男	本 谷
田中 ヨシエ	通 男	本 谷
奈須 行雄	やよい	奥 野
金丸 ナカ	久 志	中 野
山口 幸嗣	保 子	塩 津
河野 エイ	マドカ	塩 津
青木 イト	藤原 孝幸	松 原
坂本 将久	剛 生	大 王
		中 央

おわび

先月号のまちの話「秋の夜長を思い思いに」の中で『あすなろ会』とあるのは『もくれん会』の間違いでした。おわびして訂正します。

すこやか広場

乳幼児健診

■3カ月児健診

と き◇11月13日(金)、27日(金)
対 象◇平成10年8月生まれ

■7カ月児健診

日 時◇11月20日(金)
対 象◇平成10年4月生まれ

■1歳児健康相談

日 時◇11月10日(火)
対 象◇平成9年10月生まれ

■1歳6カ月児健診

日 時◇11月19日(木)
対 象◇平成9年4月生まれ

■3歳児健診

日 時◇11月6日(金)
対 象◇平成7年4月生まれ
※受付時間は、3カ月児／午後1時～1時30分、7カ月児・1歳6カ月児・3歳児／午後1時～2時、1歳児／午前9時30分～10時です。
母子健康手帳を忘れずに、健康管理センター(☎内線2181・2182)へ。

11月の休日在宅医

●1日 ☆渡辺病院(産婦・泌尿☎57 1011) ☆天生堂医院(内・整外・麻酔☎53 8910) ☆武富医院(皮☎52 5522)

●3日 ☆千代田病院(内・外・整外・胃腸・リハ・皮・放・麻酔☎52 7111) ☆柳田医院(産婦☎52 2950) ☆瀧井病院(内・精神☎52 2409)

●8日 ☆二本医院(産婦・外・胃腸・放☎54 4468) ☆協和病院(精神・神経☎54 2806) ☆吉田医院(内・循環・小児☎54 4401)

●15日 ☆鮫島医院(整外☎52 8191) ☆吉森医院(内・胃腸・循環・呼吸☎52 4046) ☆永田医院(産婦☎52 3388)

●22日 ☆古賀内科胃腸科(内・胃腸☎52 8118) ☆長田医院(耳鼻・咽喉☎52 0266) ☆大久保医院(外・胃腸☎52 5388) ☆白石病院(内・呼吸・放☎63 1365)

●23日 ☆向洋クリニック(内☎52 5488) ☆田中病院(内・放・

精神・神経・リハ☎63 2211) ☆日向内科(内・小児・胃腸☎52 0880)

☆篠原医院(産婦・肛☎63 1059)

●29日 ☆三ヶ尻医院(整外・リハ☎52 5557) ☆康田医院(産婦☎53 7788) ☆松岡医院(内☎52 5407) ☆沼田医院(皮・泌尿☎52 3785)

※変更することがありますので、前もって、テレホンサービス(☎53-1214)で確認を。

のびのび子育て

子育てテレホンサービス《☎53-5857》の11月分のテーマは次のとおりです。

☆2日～8日／排泄のしつけ
☆9日～15日／子供の栄養教育
☆16日～23日／こんな遊び大好き
☆24日～30日／子供のしかり方

11月の献血日程

◆16日(月)／宮崎県日向総合庁舎(10:00～11:30)、日向警察署(12:00～13:30)、J A日向本店(15:00～17:00)

◆17日(火)／九州電力日向営業所・電力所(8:50～12:30)、日向製錬所(14:00～16:00)

◆26日(木)／日向市役所(ひまわりライオンズクラブ協力10:00～13:00)、協和病院(14:30～16:00)

11月の母親学級

■18日(水)／妊娠中の健康管理
■25日(水)／妊娠中の食事(要予約)
会場は、市民健康管理センターで、時間は18日が午後1時30分から、25日が午前10時からです。

すくすく教室

●日時＝11月26日(木)午後2時～
●会場＝市民健康管理センター
●対象＝生後6カ月までの乳児を育児中のお母さん・お父さん
●内容＝①身体測定、②離乳食づくり、③育児相談、④交流会など



平野香穂ちゃん(永江町)

ハイ!

保健婦です

暦は「秋」。心も体も気持ちのよい季節になってきました。この秋、健康づくりには、もってこいの季節です。

現代社会は、自動車の普及などの機械化により、家庭や職場で体を動かすことがめっきり少なくなりました。それに加えて、高カロリーの食事をする生活が身についてしまった私たち。

このような生活の中で心配されるのが、生活習慣病。以前は成人病と言われて、高血圧、心臓病、糖尿病などはその典型的な病気です。この生活習慣病、症状が現れてからでは治療に時間がかかります。そのためにも予防が大切です。

それでは、どのように予防すればよいのでしょうか。それは、日常生活の見直しです。食塩のとりすぎや運動不足、食べ過ぎ、飲み過ぎなど体に悪い習慣を見直すことです。適度な運動、バランスのとれた食事で、健康な楽しい秋を満喫しましょう。
《三樹》

日向市の人口と世帯

(H10.10.1.現在)

人 口	59,026 人 (+ 69)
男	27,995 人 (+ 31)
女	31,031 人 (+ 38)
世帯数	21,463世帯 (+ 32)

転 入	207人	転 出	155人
出 生	66人	死 亡	49人

後 編 記 集



今月号からこの広報紙は、パソコンで私が編集することになりました。先月号までの広報紙と比べてどうでしたでしょうか。
このパソコンで編集することDTPと言います。なぜ、そんなことを始めたかという「だって、とつても、べんりなんだもん」というところでしょうか。今月号から新しいコーナーや情報満載のコーナーを設けました。これからは、この一冊があれば市のことは何でもわかると言われるくらいに頑張ります。《Y》